

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育内容（人間関係） 指導法 ナンバリング：2304	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名：中山初枝 担当形態：単独
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 ／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） ／保育内容演習		
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 1. 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解できる。 2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、幼児の心情、認識、思考及び動き等を踏まえた環境の重要性を考え、保育構想に活用できる。 3. 指導案の作成、模擬保育やロールプレイなど、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を理解できる。			
<b>授業の概要</b> 幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、幼児の発達や学びの過程を理解した上で、幼児の姿と保育実践とを関連させて理解を深める。指導案の作成、模擬保育の実施、情報機器の活用を通して、幼児の発達に合わせた主体的で深い学びを実現する保育を具体的に構想し、実践する方法を身に付ける。			
<b>授業計画</b> 第1回：幼稚園教育要領における領域「人間関係」 第2回：保育者との信頼関係、保育者の援助と園生活における安定感 第3回：自立心を育成する保育者の援助と環境構成 第4回：幼児同士の交流、いざこざと保育者の援助 第5回：自分の気持ちを調整する力を育成する保育者の援助 第6回：家庭、園、社会生活でのきまりをめぐる幼児の葛藤と保育者の援助 第7回：ルールのある遊びをめぐる保育者の援助 第8回：個と集団の育ちを考えた保育者の援助のあり方、保育の展開 ー指導案の作成と模擬保育を通してー 第9回：協同的な遊びの中での育ちを考えた保育の展開 ー指導案の作成と模擬保育を通してー 第10回：行事のねらいと活動内容 ー指導案の作成と模擬保育を通してー 第11回：幼小の交流活動における工夫と展開 第12回：小学校以降の生活や学習につながる力の育成 第13回：地域の人との関わりと子どもの成長 第14回：幼児期の経験をその後の成長につなげる長期的な援助計画 ー情報機器の活用、教材の工夫ー 第15回：領域「人間関係」をめぐる現代的課題 定期試験：筆記		<b>授業時間外の学習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前に教科書を読み、疑問点については調べておく。 (週1時間以上)</li> <li>・授業後は教科書や授業で配布したプリントをもとに、内容を確認し、学習した内容についてまとめておく。 (週1時間以上)</li> <li>・普段の生活における子どもたちの様子で気になったところは記録し、演習等に活かせるようにしておく。 (3時間以上)</li> </ul>	
<b>授業の方法</b> ICTを活用し、協同学習を取り入れた演習。單元ごとの小レポートにてフィードバックする。			
<b>テキスト</b> 「保育内容「人間関係」と指導法 考える・調べる・学び合う」 中央法規出版			
<b>参考書・参考資料等</b> 『幼稚園教育要領』（最新版）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育所保育指針』（最新版）、『保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・解説とポイント保育所保育指針』（最新版）			
<b>学生に対する評価</b> 授業参画度（20％）小レポート（30％）定期試験（50％）ルーブリックに基づいた評価を行う。			
<b>履修上の注意</b> 受講にあたっては、教科書を参考に事前事後の学習を行い、演習には積極的に取り組むこと。			
<b>実務経験の有無</b>	有	<b>実務経験</b>	元保育園園長
<b>実務経験を活かした教育内容</b> 保育者としての経験を活かし、実践的な授業を行う。			